

新正書法対応

独検

CD付

4級

突破

室井禎之 人見明宏 著

Diplom Deutsch in Japan

ANSHUSHA

著者 室井禎之 (むろい よしゆき) 早稲田大学
人見明宏 (ひとみ あきひろ) 愛知県立大学

[新正書法対応] 独検 4 級突破

著者 室井禎之
人見明宏
発行者 前田完治
発行所 株式会社 三修社
〒110-0004 東京都台東区下谷 1-5-34
営業 TEL 03-3842-1711 / FAX 03-3845-3965
編集 TEL 03-3842-1631 / FAX 03-3841-8125
<http://www.sanshusha.co.jp/>
e-mail: deutsch@sanshusha.co.jp
振替 00190-9-72758
編集担当 柴田明子
印刷所 壮光舎印刷株式会社

© 2000 Printed in Japan ISBN4-384-00577-6 C1084

本文レイアウト：麒麟社

装丁・本文イラスト：樋口 新

〔R〕＜日本複写権センター委託出版物＞

本書の全部または一部を無断で複写複製（コピー）することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター（03-3401-2382）にご連絡ください。

Diplom Deutsch

[新正書法対応]

独検 4級 突破

室井慎之

人見明宏

●

江苏工业学院图书馆

藏书章

● CD トラック対応表 ●

トラック番号 …… ページ

CD1	114
2	114
3	119
4	127
5	132
6	132
7	133
8	134, 135
9	135
10	136
11	137 <1. 数詞>
12	138 <2. 曜日名>
13	138 <3. 月名>
14	138 <4. a) 国、国 民言語>
15	139 <4. b) ドイツ 語圏の主要な 都市名>
16	140, 141
17	142
18	143
19	143

トラック番号 …… ページ

CD20	144
21	144
22	144
23	144
24	144
25	145
26	145
27	146
28	146
29	148
30	149
31	149
32	149
33	172
34	173, 179
35	179
36	174
37	180
38	180
39	180
40	177 <時刻の表現>

ドイツ語技能検定試験に関する問い合わせ先

財団法人ドイツ語学文学振興会
独検事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷5-29-12-1006
電話 (03) 3813-0596

◆本書は、財団法人ドイツ語学文化振興会の許諾による出版物である。

本書は独検 4 級の合格をめざす方が、重点的かつ効率的に勉強できるようにと考えて作った参考書です。92 年に始まった独検の過去の出題傾向を調べ、それに沿った受験準備ができるようにと考えました。今回、ドイツ語の表記をすべて新正書法に変えました。独検で 2000 年秋季より新正書法が採用されることに合わせたものです。

独検 4 級は筆記試験が 9 つの問題群、聞き取り試験が 3 部（96 年秋季以降）からなっています。この本の構成もそれに合わせ、各問題群にそれぞれ一章を割り当てています。各章は 3 つの部分からなります。

- 1) 過去の問題。過去の出題を検討し、私たちが典型的な問題であると考えたものを選んであります。また、さまざまな傾向のものをできるだけ取り上げてあります。各問題について正解を記すだけでなく、解答のポイントもくわしく解説してあります。なお、過去の問題は旧正書法で出題されていますが、新正書法に書き換えました。
- 2) 《突破のために》では、過去の出題傾向から、押さえておいた方がよいと思われる文法事項、表現法、語彙、慣用表現などについて整理、説明しています。ところによっては、量も多く、一見煩雑に感じることがあるかもしれませんが、ドイツ語の発想法の基礎にかかわることがらを豊富に盛り込んでいます。4 級ばかりでなく、さらに上級を目指して勉強を続けるうえでも大きな参考になると確信しています。
- 3) 《練習問題》によって重要事項を確認してください。もちろん正解と解説も付いています。ただし、過去の問題と《突破のために》を踏まえていますので、解説は簡単なものにしました。

巻末に模擬試験を添えました。出題の形式、解答用紙なども独検に準じてつくってあります。問題は少し難しめになっているかもしれませんが。この模擬試験で 60 % 程度正答できれば、合格はもう手にしたようなものでしょう。

聞き取りでは、問題を付属の CD で聞いてください。他に、聞き取りでよく出題される、月、曜日、数、重要な地名なども入れました。繰り返し聞いて、耳で理解する練習をしましょう。

ことばの学習に近道はありません。本書も独検対策問題集の形になってはいますが、受験対策にとどまらず、着実なドイツ語学習に寄与することが私たちの願いです。とりわけ語彙を豊富にすることと耳を鍛えることは何にもまして大切です。本書で足りない部分は、重要単語集（W.シュレヒト 他著「独検突破単語集 — 3・4 級合格必修 1600 —」三修社 など）、テレビやラジオの放送などによって補うことを勧めたいと思います。

室井楨之 人見明宏

本書の略語・記号などについて

- j* 「人」を表す。右肩の数字は格を表す。
例： j^3 = 「人」の3格
- et* 「物・事」を表す。
例： et^4 = 「物・事」の4格
- ～ 訳で、*j* または *et* (つまり名詞・代名詞) に対する部分。
例： j^3 antworten ～に答える
 et^1 gelingt j^3 ～³ が～¹ に成功する
(必要な場合には、右肩の数字で格を表す。)
- … 形容詞や副詞などを表す。
例： et^4 ... finden ～を…と思う
- () 省略可能および補足説明
例： j^3 (für et^4) danken = j^3 danken または j^3 für et^4 danken
backen (パンなどを) 焼く
- [] 言い換え可能
例： j^3 [an j^4] schreiben = j^3 schreiben または an j^4 schreiben
- / 言い換え可能、特に *j* と *et* の、また日本語の助詞
例：auf j^4 / et^4 warten = auf j^4 warten または auf et^4 warten
- < 変化形の元の形を表す。
例：schlägt < schlagen = schlägt は schlagen の変化形
(男・弱) 男性弱変化名詞
- er (3・単) 動詞の人称変化などで、主語が3人称単数であることを表す。
- sie (女性) 3人称単数女性の sie
- sie (3・複) 3人称複数の sie
- Sie (敬称) 敬称の Sie
- es 熟語などを挙げる場合、非人称主語の es は文頭でも小文字で挙げる。
例：es gibt et^4
- CD**
1 数字は、CD のトラック番号を示す。

INHALT 目次

まえがき— 3

本書の略語・記号などについて— 4

ドイツ語技能検定試験の審査基準— 6

筆記試験問題と対策7

第1問 アクセントと発音の問題— 8

第2問 現在人称変化の問題— 18

第3問 名詞・人称代名詞・冠詞の格変化に関する問題— 29

第4問 前置詞・接続詞などの問題— 43

第5問 名詞の語義、異なる意味・用法を持つ動詞に関する問題— 55

第6問 絵や地図を見て答える問題— 68

第7問 短い会話を完成させる問題・適切な疑問詞を選択する問題— 78

第8問 会話の流れから必要な表現を補う問題— 89

第9問 長文読解の問題— 102

聞き取り問題と対策113

第1部 代名詞・所有冠詞・疑問詞などの問題— 114

第2部 短い文章の聞き取り— 132

第3部 ドイツ語を聞き適切な絵を選択する問題— 143

筆記模擬試験151

解答と解説— 162

聞き取り模擬試験171

解答と解説— 176

ドイツ語技能検定試験の審査基準

「独検」の主催者である「財団法人ドイツ語学文学振興会」による＜審査基準＞を参考として紹介します。

「独検」は、ドイツ語の語学力は、「読む」「書く」「聞く」「話す」力の総合によって成り立つ、ということを基本的考え方においています。したがって、試験内容も各級のレベルにあった形でこの4つの力が問われるよう練られています。

本書は、4級受験者を対象としていますが、3級の審査基準もあわせて紹介しておきます。

4級 大学や語学研修などで約80時間程度の学習者

聞く話す 初歩的な語句で意志疎通ができる。

- ・主に日常慣用の言い回しを用いて簡単なあいさつや紹介ができる。
- ・簡単な文（単文、短い文、主に現在形）を聞いて理解することができる。
- ・必要最小限の意志伝達ができる。
- ・ja, nein, doch の正しい表現ができる。
- ・アクセントを間違えずに基礎的な単語の発音ができる。など

読む 平易な文を読むことができる。

- ・平易な記述文（主に単文）、手紙、掲示などを読み、その内容を理解することができる。
- ・短い文章の要点を読み取ることができる。
- ・ある程度辞書を使うことができる。など

書く 初歩的なドイツ語で、簡単な事柄を書き表すことができる。

- ・日常語の単語のつづりを書くことができる。
- ・現在人称変化や代名詞などの格変化を正しく書くことができる。
- ・簡単な文を聞き取って書くことができる。など

3級 大学や語学研修などで約200時間程度の学習者

聞く話す 日常生活に必要な簡単な会話ができる。

- ・あいさつや対応ができる。
- ・やや詳しく自分や他人の紹介ができる。
- ・商店、銀行、病院、駅などで自分の意志や要望を簡単な表現で伝えることができる。
- ・伝言や道案内ができる。など

読む 簡単な文章（副文を含む）を読むことができる。

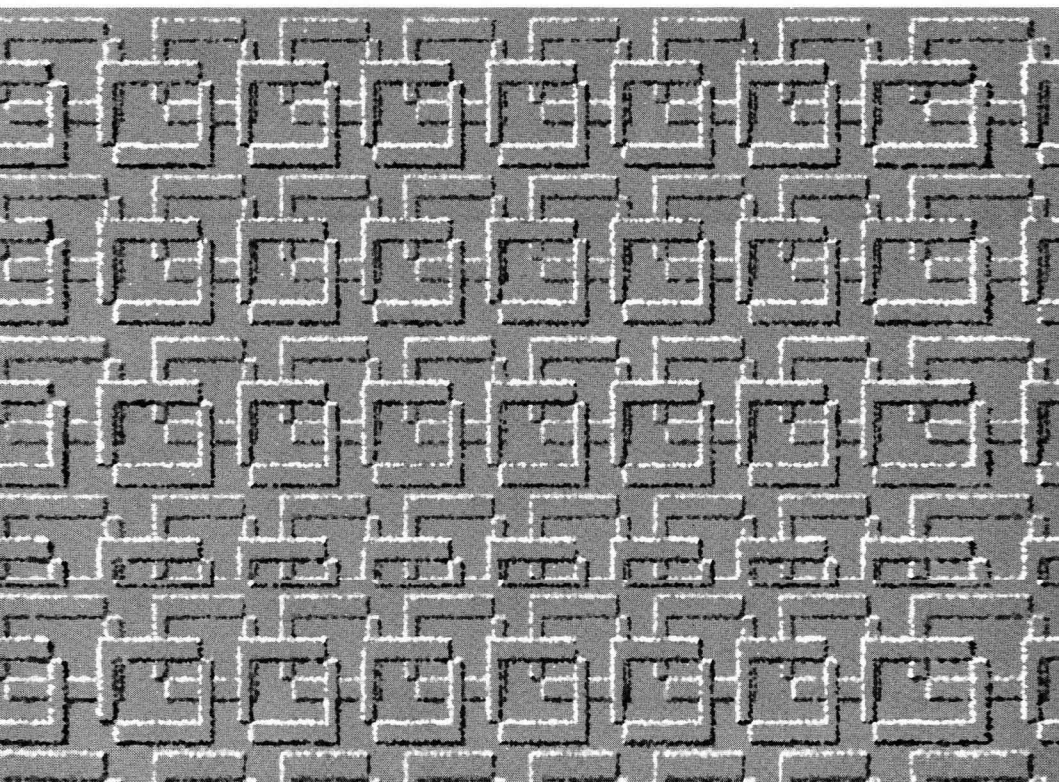
- ・簡単な記述文、手紙、広告、看板などを読むことができる。
- ・やや複雑な文章の要点を読み取ることができる。
- ・新聞や雑誌の見出しが理解できる。など

書く 簡単な文章（副文を含む）を書くことができる。

- ・日常多用される名詞の性や複数形を正しく書くことができる。
- ・形容詞の格変化語尾を正しく書くことができる。
- ・完了の助動詞 haben と sein を使い分けることができる。
- ・簡単な手紙や日記を書くことができる。
- ・副文を含む文を聞き取って、その要点を書くことができる。など

独 検 4 級

筆記試験問題と対策



第 1 問

アクセントと発音の問題

●アクセント

次の(1)～(3)の各組の中に、第一音節にアクセント（強勢）のないものが一つずつあります。それを下の 1～4 のうちから選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- | | | | | |
|----------------|--------------|--------------|-------------|-------|
| (1) 1 einladen | 2 arbeiten | 3 antworten | 4 studieren | ('92) |
| (2) 1 lebendig | 2 freiwillig | 3 eigentlich | 4 pünktlich | ('92) |
| (3) 1 Januar | 2 Juni | 3 Juli | 4 September | ('93) |

次の(4)と(5)の各組の中に、第一音節にアクセント（強勢）のあるものが一つずつあります。それを下の 1～4 のうちから選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- | | | | | |
|--------------|-----------|----------|-----------|---------|
| (4) 1 Besuch | 2 Lehrer | 3 Museum | 4 Theater | ('96 春) |
| (5) 1 Papier | 2 Familie | 3 Ferien | 4 Klavier | ('95 春) |

正解 (1) 4 (2) 1 (3) 4 (4) 2 (5) 3

解説

(1) 1 einladen [áinla:dən **ア**イン・ラーデン], 2 arbeiten [árbaɪtən **ア**ルバイテン], 3 antworten [ántvɔrtən **ア**ントヴォルテン], 4 studieren [ʃtudi:rən シュトゥディーレン]。

▶ 1 einladen は分離動詞で、アクセントは分離前綴り ein-にあります。2 arbeiten と 3 antworten は共に第一音節にアクセントがあります。また名詞 Arbeit は、日本語に入ってきていますが、日本語のアクセントとは違い、元のドイツ語では第一音節にアクセントがあるので注意してください。4 studieren のように、-ieren で終わる動詞は、-ieren にアクセントが置かれます。

(2) 1 lebendig [lebéndiç レベンディヒ], 2 freiwillig [frárvılıç フライ・ヴィリヒ],

3 eigentlich [áigəntliç アイゲントリヒ], 4 pünktlich [pýŋktliç ピュンクトリヒ]。

▶ 1 lebendig は名詞 Leben [lé:bən レーベン]からの派生語ですが、例外的に元の名詞とはアクセントの位置が異なり、第一音節にアクセントが置かれません。2 freiwillig, 3 eigentlich, 4 pünktlich は、すべて第一音節にアクセントが置かれます。

(3) 1 Januar [jánuar: ヤヌアール], 2 Juni [jú:ni ユーニ], 3 Juli [jú:li ユーリ],

4 September [zeptémbər ゼプテンバー]。

▶ 1 Januar, 2 Juni, 3 Juli が第一音節にアクセントがあるのに対し、4 September は第一音節にアクセントはありません。

(4) 1 Besuch [bəzú:x ベズーフ], 2 Lehrer [lé:rər レーラー], 3 Museum

[muzé:om ムゼーウム], 4 Theater [teá:tər テアーター]。

▶ 1 Besuch は、動詞 besuchen からの派生語ですが、この前綴り be-はアクセントを持たない非分離前綴りです。名詞 Besuch も同様に第一音節にアクセントが置かれません。3 Museum と 4 Theater は共に外来語で、アクセントは第一音節にありません。これに対し、2 Lehrer は本来のドイツ語で、第一音節にアクセントが置かれます。

(5) 1 Papier [papi:r パピーア], 2 Familie [famí:liə ファミリーエ], 3 Ferien

[fé:riən フェーリエン], 4 Klavier [klaví:r クラヴィアー]。

▶ 1 Papier と 4 Klavier は外来語で、共に-ier にアクセントが置かれます。2 Familie も外来語で、やはりアクセントは第一音節にはありません。3 Ferien は複数形しか持たない名詞ですが、これは第一音節にアクセントがあります。なお、ie という綴りは長母音[i:]ですが、[iə]という発音になる語もあるので注意しましょう。

次の(1)～(5)の指定された条件にあてはまるものが各組に一つずつあります。それを下の1～4のうちから選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

(1) 下線部の発音が ach の下線部と異なる。

1 Buch 2 machen 3 auch 4 Töchter ('96 秋)

(2) 下線部の発音が Kind の下線部と同じである。

1 Dänemark 2 Hände 3 Länder 4 Mädchen ('96 春)

(3) 下線部の発音が Fenster の下線部と同じである。

1 Obst 2 Student 3 Stadt 4 Frühstück ('95 春)

(4) 下線部の発音が Fluss の下線部と同じである。

1 See 2 Spiel 3 Hausfrau 4 Sohn ('96 春)

(5) 下線部の発音が Vater の下線部と同じである。

1 Vase 2 Vormittag 3 Universität 4 November ('94)

正解 (1) 4 (2) 4 (3) 1 (4) 3 (5) 2

解説

(1) 1 Buch [bu:x ブーフ], 2 machen [máxən マッヘン], 3 auch [aux アオホ], 4 Töchter [tœçtər テヒター]。

▶ ach は[ax]と発音され、この時のch は[x]の音です。これと同じ発音になるのは、1 Buch, 2 machen および 3 auch です。これに対し、4 Töchter のch は[ç]の音です。

(2) 1 Dänemark [dé:nəmark デーネマルク], 2 Hände [héndə ヘンデ], 3 Länder [léndər レンダー], 4 Mädchen [mé:tçən メートヒェン]。

▶ Kind は[kɪnt キント]と発音され、この時の-d は無声音の[t]です。4 Mädchen は、Mäd-と-chen の二音節から成っているため、音節末の-d はやはり無声音の[t]です。これに対し、1 Dänemark, 2 Hände および 3 Länder における d は、す

べて有声音の[d]です。

(3) 1 Obst [o:pst **オ**ーブスト], 2 Student [ʃtudent シュトウ**デ**ント], 3 Stadt [ʃtat シュ**タ**ット], 4 Frühstück [frý:ʃtvk フリュー・シュテュック]。

▶ Fenster の発音は[fénstər **フ**ェンスター]で、この st と同じ音になるのは、1 Obst です。この両者とも、st の位置が語頭・音節頭ではないので[st]と発音され、[ʃt]とはなりません。これに対し、2 Student, 3 Stadt では、st-が語頭であり、また 4 Frühstück は früh + Stück から成る複合語で、st-が音節頭にあるため、[ʃt]と発音されます。

(4) 1 See [ze: **ゼ**ー], 2 Spiel [ʃpi:l シュ**ピ**ール], 3 Hausfrau [háusfrau ハオス・フラオ], 4 Sohn [zo:n **ゾ**ーン]。

▶ Fluss [flus **フル**s]の ss は、[s]の音です。これと同じ音で発音されるのは、3 Hausfrau の s です。1 See と 4 Sohn の s は、共に母音の前にあるので、有声音 [z]となります。2 Spiel は語頭の sp-のため、[ʃp]と発音されます。

(5) 1 Vase [vá:zə **ヴァ**ーゼ], Vormittag [fó:rmita:k **フォ**ア・ミッターク],
3 Universität [univerzité:t ウニヴェルズィ**テ**ート], 4 November [novémber
ノ**ヴ**ェンバー]。

▶ Vater [fá:tər **ファ**ーター]と 2 Vormittag は共にドイツ語本来の単語で、両者とも v は[f]の音になります。これに対し、1 Vase, 3 Universität および 4 November はすべて外来語で、v の後に母音が続くので、v は[v]と発音されます。

ドイツ語のアクセントに関しては、第一音節にアクセントが置かれるというのが原則です。したがって、どのような語の第一音節にアクセントが置かれなかったのかを知っておく必要があります。過去の出題問題から、第一音節にアクセントが置かれなかった語を確認しておきましょう。

1 非分離前綴りを持つ語

アクセントのない前綴りには、be-, emp-, ent-, er-, ge-, miss-, ver-, zer- の8つがあり、これらの前綴りは、しばしば動詞と共に非分離動詞を形成し、非分離前綴りと呼ばれます。過去に、bekannt, Besuch, gerade, Geschenk, gesundなどが出題されています。

2 外来語

外来語には、通常第一音節にアクセントは置かれませんが、しかしどの語が外来語なのかを判断するのはなかなか難しいものですから、そのつど辞書で確認する必要があります。以下に、過去に出題された外来語を、アクセント符号をつけて挙げておきます。

Adresse, Appétit, Benzin, Chemie, Familie, Grammatik, interessant, Japanisch, Klavier, Museum, Natur, natürlich, Papier, Polizei, Restaurant, Student, Studentin, Theater

Japanisch は、Japan から派生した語ですが、Japan に対して Japanisch とアクセントの位置が移ります。なお第一音節にアクセントのある外来語として、Kamera が出題されています。

3 -ieren型の動詞

-ieren で終わる動詞も外来語ですが、これは常に-ieren にアクセントが置かれます。過去に、studieren が出題されています。

4 月名

12 か月の月名は、第一音節にアクセントがあるものとないものがあります。過去にも何度か出題されていますので、ここで多音節の語にはアクセント符号をつけてすべて挙げておきましょう。

Jánuar, Fébruár, März, Apríl, Mai, Júní, Júlí, Augúst, Septémber, Október, Novémber, Dezémber (すべて男性名詞)

したがって第一音節にアクセントがないのは、Apríl, Augúst と -ber で終わるものの6つです。

5 その他

上記のグループに属さないものとして、alléin と lebéndig が過去に出題されています。このような語は少数ですが、einánder, Jahrhúndert, sofórt, vielléicht, wohér, wohín, zuérst, zufriedenなどは重要な単語なので、しっかりと覚えておく必要があります。

ドイツ語の発音に関しては、ローマ字式に読むというのが原則です。したがって、ローマ字式に発音してはいけない、ドイツ語特有のものが出題されます。その中でも、過去に出題された重要なものをまとめておきましょう。

1 ch

ch の発音は過去に何度も出題されており、非常に重要なものなので、ここできちんと確認しておきましょう。まず ch の発音には、[x] と [ç] の二通りがあります。

[x] : 口の上奥の柔らかい部分（軟口蓋）に息を当てて出します。駆け足をした後、息が切れて出す「ハッ、ハッ」という音です。

[ç] : 上の歯のすぐ後ろの硬い部分（硬口蓋）に息を当てて出します。少し強めに、かすれたように出す「ヒ」という音です。

そして次に重要なことは、ch が、

a) 母音 a, o, u, au の後で、[x] と発音される

b) 上記以外では、[ç]と発音される

ということです。a)に関しては、これらの母音の口の形のまま ch が発音されるため、ach は[アハ]、och は[オホ]、uch は[ウフ]、auch は[アォホ]と聞こえます。また、b)に関しては、e, i, ie, ä, ö, ü, eu, äu および子音の後、または語頭の ch があてはまります。ただし、外来語における ch はこの規則にあてはまらないものがあります。

2 語末・音節末の-b, -d, -g

ab, Rad, Tag などにおける、語末の-b, -d, -g は無声音になり、それぞれ[p], [t], [k]と発音されます。これは複合語でも同様で、Radfahrer (Rad + Fahrer) の d も同様に[t]と発音されます。またこれは、語末の子音群や、音節末にもあてはまります。例えば、Obst のような語末の子音群の中の b や、Erbse (音節は Erb-se) における音節末の b も[p]と無声音になります。

3 s と ß

s は、母音の前でのみ[z]という有声音になり、それ以外では[s]という無声音です。これに対し、ß と ss は常に無声音[s]で発音されます。なお、ss と ß という綴りに関しては、以下のような規則があります (参考までに旧正書法も挙げておきます)。

新正書法		旧正書法	
短母音 + ss	essen	短母音 + ss + 母音	essen
	Fluss, isst	短母音 + ß (+子音)	Fluß, ißt
長母音・二重母音 + ß	Fuß, heiß	長母音 + 二重母音 + ß	Fuß, heiß

旧正書法での Fluß や Fuß の場合、ß の前の母音の長短が綴り字からは判断できませんでしたが、新正書法では綴り字から判断できるようになりました。その一方で新正書法では、Fluss や Fuß のように、母音の長短が分らないと正しく綴れなくなりましたので、この点に注意する必要があります。

4 語頭・音節頭の sp-, st-

Sport, Straße などにおける、語頭の sp-, st-は[ʃp], [ʃt]と発音されます(sch-の発音[ʃ]と同じです)。これは音節頭にもあてはまり、Hauptstraße (Haupt + Straße) の st-も[ʃt]と発音されます。ここで注意しなくてはならないのは、「語頭・音節頭」ということで、それ以外では[sp], [st]と発音されることです。例えば、人称語尾や最上級の語尾の-st などは、語頭でも、音節頭でもないので、[st]と発音されます。

5 v

v はドイツ語本来の語では f と同様に[f]の音になります。しかし、これにあてはまる語は実際にはそれほど多くなく、Vater, ver-, viel, vier, Vogel, Volk, voll, von, vor を知っていれば十分です。これに対し外来語に現われる v は、Vase のように、その後に母音が続くときは、[v]と発音されます。

最近の独和辞典の多くは発音に仮名表記を用いています。これは確かに初心者には大変便利であると同時に、ドイツ語の発音をかなり正確に再現しています。しかし、仮名表記はあくまでも補助的なものですから、できるだけ早いうちに発音記号に慣れておくほうがよいでしょう。